



外国出張報告書

平成 27 年 3 月 31 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 27 年 2 月～3 月
3. 出張目的 実証調査村におけるため池の水管理方法の調整・基本方針等の決定、及び新設ため池の施工・水路の整備等に係る補助作業：B
4. 成果の概要
 - (1) 実証調査対象地区であるノーザン州タマレ市近郊の Nwogu 村において、実証ほ場における新設ため池を利用した稲作を来年度実施予定の農家等を対象に、新設ため池の利用計画や管理方針（ルール）の策定や合意形成を行うため、意見交換を実施した。
 - (2) 同村のチーフと相談の後、新設ため池に係る 5 名のメンバーからなる監視委員会を決めるとともに、同委員会メンバー及び協力農家 10 名に対し、調査概要、組織活動、それぞれの役割、水管理の基本的な考え方（料金徴収の必要性等）等を説明し、活動に対する大枠の合意を得た。
 - (3) 実証調査地区の新設ため池及びほ場の整備に関する施工管理を実施。
 - (4) その他、アクラの食料農業省 (MoFA) のヘッドオフィスにおいて、稲作技術のマニュアル ("The manual on improving rice production in Africa"; 2012, JIRCAS) の普及状況についての聞き取り調査を実施し、前回の出張時（平成 26 年 10 月～11 月）に確認できなかった、数州での配布状況を確認するとともに、土壌肥沃度マニュアル ("Manual of Soil Fertility Improvement Technologies in Lowland Rice Ecologies of Ghana"; 2014, JIRCAS) の配布状況の情報を得た。